

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市沼垂西3丁目
電話 (243) 0141
22年5月23日

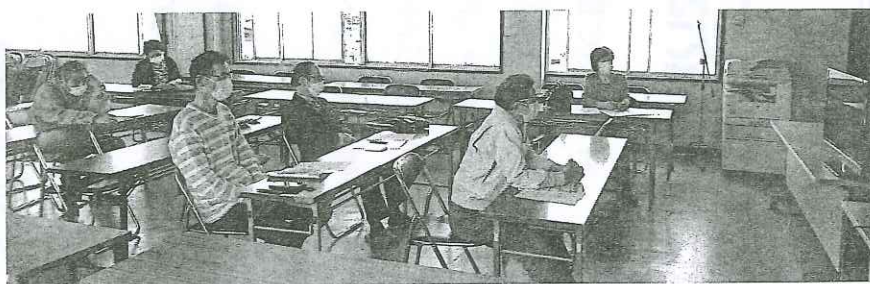
複雑な制度に困惑・参院選で廃止に追い込もう 消費税・インボイスセミナーを開催

民商では消費税・インボイス制度学習会を5月15日に開催し、11名が参加しました。

始めに全商連作成の湖東税理士によるインボイス解説動画を視聴。その後、パンフレットを使用し補足説明がされました。なぜインボイスを求められるのかを理解するには消費税の計算の仕組みを知る必要があります。インボイス導入前と導入後の税額の違いや本則課税と簡易課税についても説明がされました。

説明の後は「消費税をもらっていない必要なのか」「自分は免税業者で一般顧客の仕事しかしていない場合はどうか。また、外注にインボイスの発行を求めると必要はあるか」「ホームセンターなどで材料の仕入をしているが、レジで請求書をもらわないといけないのか」などの質問が続々と寄せられました。

最後にインボイス制度を中止・廃止するには選挙や署名がカギとなることを話し、夏の参院選の重要性を確認しました。



5/12 片桐なおみさん第一声

5月12日の朝9時頃、片桐なおみ県知事候補の第一声が駅南広場で行われました。

片桐さんは「世界最大の柏崎・刈羽原発は再稼働させてはならない」と強調。病院の統廃合を止めるなど福祉政策を訴えていました。

**争点は「原発再稼働の是非」
「弱者が大切にされる県政」**

**周りの人にも支援を訴えて
片桐さんの支持を広げよう**

事業復活支援金の締め切り間近(5/26)、申請の相談者が続々と相談会に参加

日程

- ・第11回二役会議 5月24日
- ・青年部役員会 5月27日
- ・県知事選投票日 5月29日

中央・西ブロック相談会

連休明けの5月10日。中央・西ブロック合同の相談会が開催され、24名の相談者が民商会館を訪れました。

相談会の冒頭に野上昇会長が「自公政府は税金だけ納めさせて国民には何も返さないという姿勢を貫いている。利用できるものを利用して生き抜くのはもちろん、よりよい支援制度が創設されるよう求めていこう」とあいさつ。続けて事業復活支援金の申請の大きな流れを確認して、申請作業へと移りました。

事前に必要書類が準備されている方が多く、申請作業もスムーズに進みます。スマートフォン扱いに慣れていない方には周りの参加者や事務局が援助。ほとんどの参加者が申請を終えることができました。

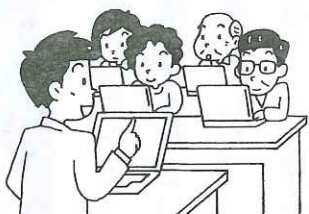
北東ブロック相談会

5月13日には新商連会館を会場に北東ブロックが相談会を開催。12名が参加しました。こちらの相談会には全く初めて参加する方もいて、必要書類について議論

に、「持続化給付金のイメージだったから、こんなに書類が必要とは思わなかった」と落胆の表情。しかし隣の会員から「前ほど簡単ではないのは確か。でも何回も通えば大丈夫」と励まされて安堵の表情を浮かべていました。

また別の参加者は計算してみると支援金は該当しないことが判明。しかし売上が減少していることは間違いないため、緊急小口資金と総合支援資金に挑戦しようと話し合っています。

また木戸支部から大形支部に移動となる会員は記帳会の参加者と交流。次回から記帳会に参加することに。相談会で励まし合える仲間の輪が広がっています。



前部 不備ループの不安にも負けず 事業復活支援金を勝ち取る

国の月次支援金等で不備メールが延々と続く「不備ループ」問題。Aさんはこの問題に苦しめられながらも、民商の仲間とともに諦めず粘り強く中小企業庁と交渉。期限切れ間近に無事給付を勝ち取りました。

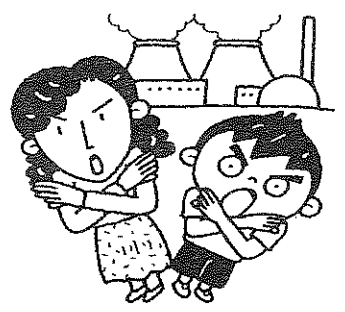


その後も新型コロナウイルス感染症は収束せず、Aさんの店の売上は全く戻りません。前述の通り「不備ループ」にハマった経験から、次の支援金も不備が来るのではと不安で仕方がありません。しかし商売を守るためにと決意し、駅前支部の相談会に参加し事業復活支援金に挑戦することとなりました。

無事に申請は完了したものの、約2カ月間「審査中」のまま。「また駄目かも」と諦めかけていましたが、粘り強く待ち続けて無事給付されました。Aさんは「長年続けてきた商売自体を否定するような『不備ループ』が二度と起きない様にして欲しい」と話しています。

木戸支部 原発再稼働は絶対にダメ 訪問対話行動で選挙が話題

木戸支部では役員会で「支援金を知らない会員に制度を知らせよう」「県知事選の争点についても会員と議論しよう」と討議。まずは16日に婦人部理事の遠藤春恵さんが事務局と組んで会員訪問を行いました。



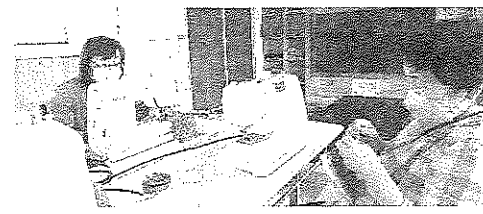
訪問では、どこでも県知事選挙のことが話題に。「自分のまわりでも話題になっている。原発の再稼働は絶対にダメ。片桐なおみさんに頑張ってほしい」という会員がほとんど。また新潟県が計画している病床の削減計画のことを話すと「新型コロナウイルス感染症がまたまた減らない中とんでもないね」と憤りの声が出されました。ある会員のお宅では、遠藤さんが飼っていた犬の子供が飼われていて久々の嬉しい対面をしていました。

木戸支部では今後も支部長の小山さん、副支部長の五十嵐さんが会員訪問を計画しています。

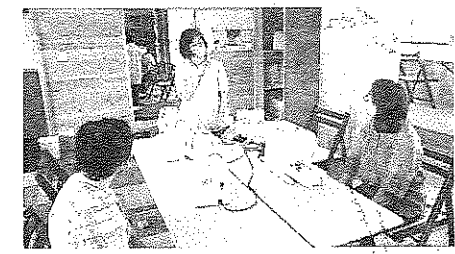
亀田支部 亀田縞の歴史にも触れながら ティッシュケース作成！婦人部！

亀田支部婦人部は13日に「えんばよこごし」でティッシュケース作り&ランチ会を開催しました。

初めに山本亀田支部婦人部長から「亀田縞は、藍染で水に強く丈夫で防虫効果がある。以前は600を超える織物業者が存在したが、大手業者の安い生地が大量に輸入されて次々廃業していなくなった。平成14年の復活プロジェクトで2社が復活した。今では商標登録されている」と亀田縞の歴史を説明しました。



それぞれ好きな生地を選び、2か所を直線で縫うだけであっという間にティッシュケースが完成。その後はランチを食べながら、先月の県婦協総会の講演内容や次回の集まりのことなど話は尽きず、楽しい交流となりました。



共済会からのお知らせ 集団健診の日程決まる!

【健康診断】

◀ 木戸病院健診センター ▶

8月27日(土) …定数 10名 10月22日(土) …定数 10名

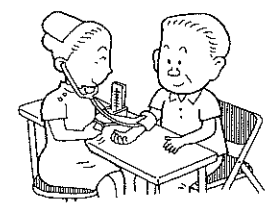
◀ 新潟県健康管理協会 ▶

7月23日(土) …定数 10名 9月17日(土) …定数 10名

【特定健診(人間ドック) [建設業元請に提出する健診]

◀ 新潟県健康管理協会 ▶

7月 2日(土) …定数 10名



※申込書は受付開始の段階で、商工新聞にチラシを折り込みます
1年に1回は健康診断を受けましょう!!